

【概要】

あるドライブから別のドライブにファイルがコピーされる時間を計測し、ドライブ間のデータ転送速度を測ります。
実在するファイルをコピーして、サイズに応じた転送速度を計測します。

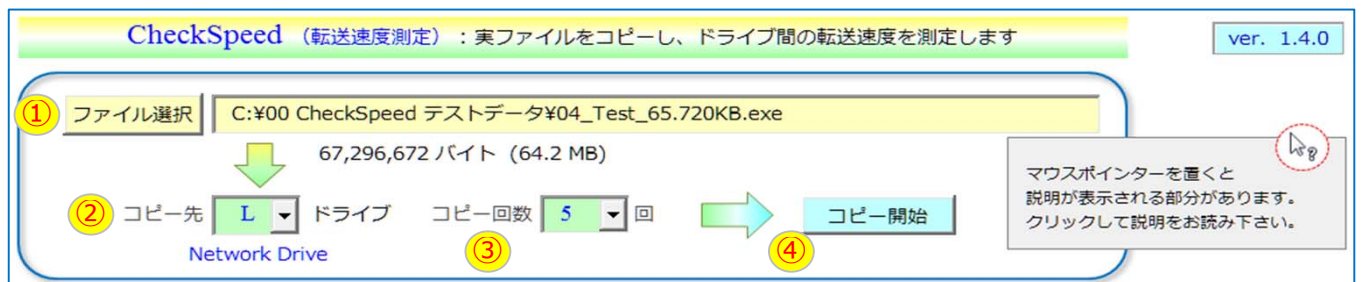
1～20回の範囲でコピーを繰り返し、各回の転送速度の最小値・最大値、平均値などを計算します。
キャッシュ等による影響を少なくするためにコピーする前に待ち時間を設けています。

また、ファイルサイズが小さい場合の誤差を少なくするため、コピーするファイルには 5MB 以上の制限を設けています。

【使い方】

基本的な操作は次の ①～④ です。

- ① [ファイル選択] ボタンをクリックしてファイルを選択し、
- ② 「コピー先のドライブ」と
- ③ 「コピー回数」を指定し、
- ④ [コピー開始] ボタンをクリックします。



各回のコピーが終われば、下図のように測定結果が表示されます。

5 回のコピーが完了しました。					転送速度	
回数	開始時刻	終了時刻	所要時間		KB / 秒	MB / 秒
	[時:分:秒.ミリ秒]	[時:分:秒.ミリ秒]	時:分:秒	秒.ミリ秒		
1	16:40:08.406	16:40:10.703	0:00:02	2.297	12,288.456	12.000
2	16:41:12.101	16:41:13.570	0:00:01	1.469	19,217.053	18.767
3	16:42:16.011	16:42:17.839	0:00:02	1.828	15,439.342	15.077

【測定結果】

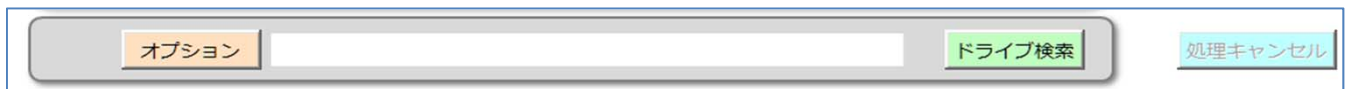
③ で指定した回数分の測定結果は上図のように表示されます。

全体での平均値・最小・最大値などは別シート「測定結果一覧」に保存されます。

前回以前の結果に追記する形で記録されます。

【オプション】

「オプション」として自動実行（自動測定）ができます。



「オプション」ボタンをクリックすると次のような画面が表示されます。



- (A) 測定を自動的に行うかどうかを指定します。
自動実行を行う場合は、(B)～(D)を設定して、[保存]します。
- (B) 自動実行を始める時刻を選択します。
指定した時刻がすでに過ぎた時刻なら翌日扱いになります。
- (C) (D) 自動実行は連続的に行うことができるので、繰り返し回数と繰り返し間隔を指定します。
回数は1～48回の範囲、間隔は00:00～23:30の30分間隔で指定できます。
- (E) 設定を[保存]します。

のように指定すると、メイン画面は次のようになります。



自動実行の途中（多くの場合は、開始日時までの待ち時間内）で処理を[キャンセル]することができます。
現在の日時が開始日時に達していない場合は、キャンセルしても[再開]することができます。

【その他】

「wait & start」部は、待ち時間を表すプログレスバーです。
カラーパレットをクリックすると、
プログレスバーの色を変えることができます（20色より選択）。



【お問い合わせ】

ご質問、ご要望は、[お問い合わせ先（メール）]ボタンをクリックして、メールにてご連絡ください。

お問い合わせ（メール） : from_user@hokusosha.com